

NACHI



第125期 事業報告書

2006年12月1日から2007年11月30日まで

株式会社 不二越

証券コード 6474

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第125期(2006年12月1日から2007年11月30日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経済環境

当期のわが国経済は、原油・原材料価格の高騰に加え、一部の業界で設備投資繰り延べの動きがありました。好調な輸出を背景に企業収益が拡大し、穏やかながら景気回復を持続してまいりました。また、海外におきましては、アメリカ経済が減速傾向にある一方で、アジア市場の拡大、ヨーロッパ経済の回復などにより、総じて堅調に推移いたしました。

事業の経過ならびに成果

このような経営環境のもと、当社グループは、営業、製造、開発の各面で体制を強化し、日系メーカーを中心とした世界的な自動車生産の拡大や、建設機械、航空機をはじめとした産業機械分野の市場の拡がりに対して、連環型の商品・技術、サービスを提供する「ナチビジネス」を積極的に展開してまいりました。

この結果、当期の連結業績は、売上高、利益ともに2期連続で過去最高額を更新いたしました。

売上高は、1,936億円と前期に比べ3.7%の増収となりました。このうち、国内向けの売上高は1,295億円(前期比0.8%増)、海外売上高は641億円(同10.1%増)であります。

利益面につきましては、原材料、部品価格の上昇や、生産体制の拡充に伴う固定費の増加などの影響がありましたが、売上・生産の拡大による操業度の向上や、生産性の改善をはじめとしたトータルコストの低減にとり組みました結果、当期の営業利益は167億円と前期に比べて12億円の増益(前期比7.8%増)、経常利益は152億円(同7.9%増)、当期純利益は78億円(同7.6%増)となりました。

配当金

期末配当金につきましては、当期の業績ならびに今後の事業展開などを勘案いたしまして、前期と同様に1株につき8円とさせていただきます。

今後のとり組み

今後の見通しにつきましては、新興国市場の拡大を背景に、自動車や産業機械業界

がひき続き堅調に推移すると予想されますが、一方で、アメリカ経済の減速、円・ドル相場や原油・原材料価格の動向など、先行き不透明な要因が多く、警戒感を持って経営にあたる必要があります。

当社グループといたしましては、経営のあらゆる面で連環を強化し、安定した収益基盤の確立に努めてまいります。

そして、世界のものづくりの分野で信認される「ナチブランド」を確立し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年2月

代表取締役社長

井村 健輔

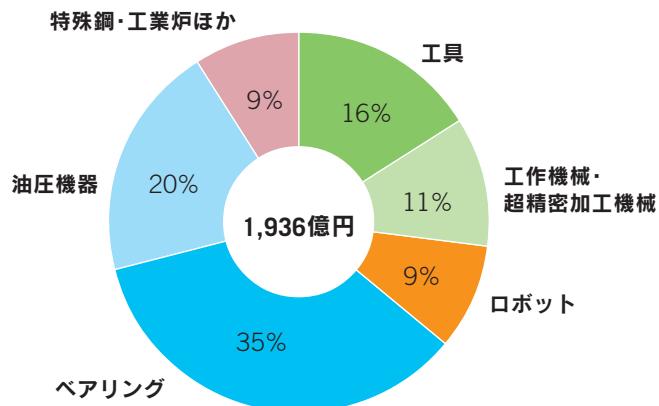


表紙のデザインについて

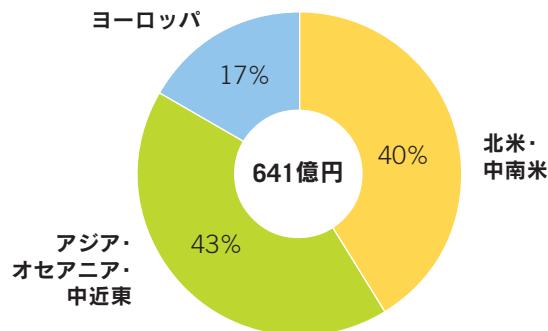
三角形は、社名に込められた企業理念、「不二、正反合」を表しています。

業績の推移(連結)

商品別の売上高構成

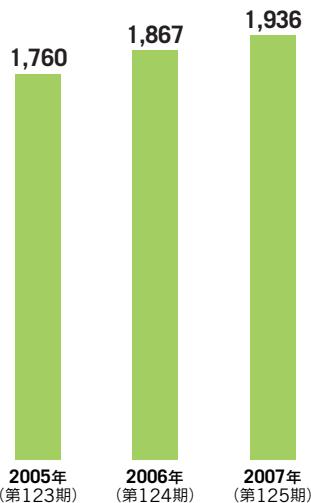


地域別の海外売上高構成



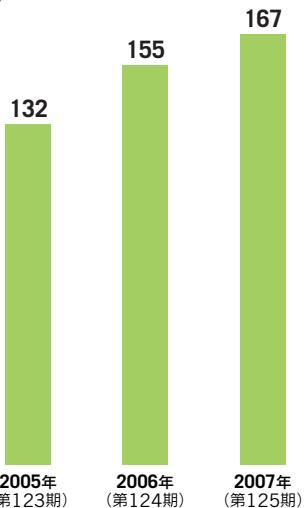
売上高

(億円)



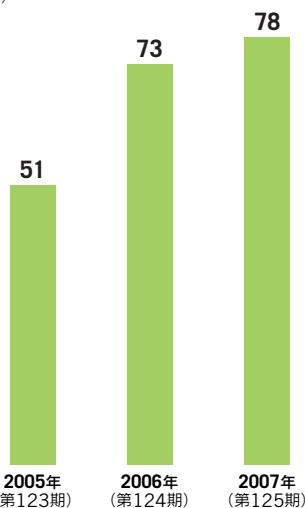
営業利益

(億円)



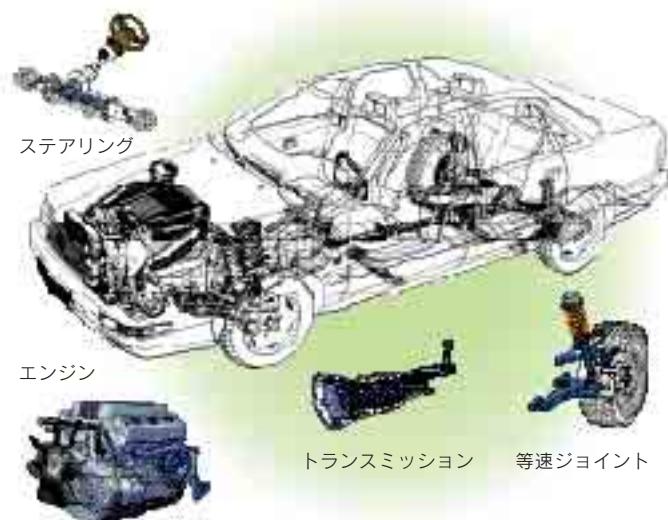
当期純利益

(億円)



ものづくりの世界の発展に貢献する ナチビジネスの連環

自動車 安全、快適で、機敏な走りのために



航空機 ジェットエンジン部品加工を、高精度、高能率に



タービンスク
ブレード

新幹線
高い機能で
信頼に応える



**ユーティリティ
(ミニ建機)**
省エネ・コンパクトで
大きなパワー



クルマ 航空機 新幹線 ミニショベル 工作機械 携帯電話
つくる、回す、走る技術。何ものかを生み出す

機械工具・ロボット事業

高精度・高能率加工、製造ラインの自動化に貢献



精密工具



工作機械



ナノレベルの
超精密加工機械



大型ガラス基板搬送用
ロボット

機能部品事業

安全・快適性を追求



高性能ベアリング

産業機械 高精度、高能率を実現する



工作機械



射出成形機

生活関連 身近なシーンで活躍する



免震システム



DIY



開閉ドーム

電機・電子 家電からITまで



デジタル機器に使用される非球面レンズ

デジタルカメラ 液晶テレビ 住宅 環境関連

“不二越、不思議。Art in NACHI”

材料・熱処理事業

高機能・高品質を支える



建設機械・産業機械用の油圧機器



カーコントロールバルブ



特殊鋼



コーティング・浸炭など表面改質技術

財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2007年11月30日現在)	前 期 (2006年11月30日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	99,833	90,894
現金及び預金	20,996	13,406
受取手形及び売掛金	41,149	42,220
たな卸資産	31,326	30,097
繰延税金資産	3,660	3,047
その他	2,979	2,417
貸倒引当金	△279	△294
固 定 資 産	101,946	95,213
有 形 固 定 資 産	82,024	72,393
建物及び構築物	28,643	21,744
機械装置及び運搬具	43,229	39,731
土地	7,659	7,226
建設仮勘定	1,018	1,852
その他	1,473	1,838
無 形 固 定 資 産	402	429
ソフトウェア	335	332
その他	66	96
投資その他の資産	19,519	22,390
投資有価証券	16,255	19,230
長期貸付金	149	150
繰延税金資産	837	866
その他	2,305	2,181
貸倒引当金	△28	△38
資 産 合 計	201,779	186,107

科 目	当 期 (2007年11月30日現在)	前 期 (2006年11月30日現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	100,815	91,259
支払手形及び買掛金	38,830	35,988
短期借入金	33,789	33,867
未払費用	10,982	9,282
その他	17,211	12,120
固 定 負 債	39,523	39,989
社債及び長期借入金	28,201	26,619
退職給付引当金	7,226	8,171
その他	4,096	5,197
負 債 合 計	140,338	131,248
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	56,223	49,918
資 本 金	16,074	16,074
資本剰余金	11,571	11,452
利益剰余金	28,760	22,548
自己株式	△183	△157
評 価 ・ 換 算 差 額 等	2,854	3,283
その他有価証券評価差額金	6,067	7,531
為替換算調整勘定	△3,212	△4,247
少 数 株 主 持 分	2,362	1,656
純 資 産 合 計	61,440	54,859
負 債 及 び 純 資 産 合 計	201,779	186,107

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2006年12月1日から 2007年11月30日まで)	(2005年12月1日から 2006年11月30日まで)
売 上	193,670	186,722
営 業 利 益	16,774	15,555
経 常 利 益	15,286	14,161
特 別 利 益	1,045	624
特 別 損 失	2,765	1,594
税金等調整前当期純利益	13,567	13,191
当 期 純 利 益	7,858	7,304

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2006年12月1日から 2007年11月30日まで)	(2005年12月1日から 2006年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,769	10,221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,060	△18,812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,469	11,627
現金及び現金同等物の増加額	8,322	3,186
現金及び現金同等物の期首残高	12,643	9,231
現金及び現金同等物の期末残高	20,965	12,643

連結株主資本等変動計算書 当期(2006年12月1日から2007年11月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2006年11月30日残高	16,074	11,452	22,548	△157	49,918	7,531	△4,247	3,283	1,656	54,859
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△1,989		△1,989					△1,989
当期純利益			7,858		7,858					7,858
自己株式の取得				△58	△58					△58
自己株式の処分		119		33	152					152
持分法適用関連会社から連結子会社への異動に伴う増減			15		15					15
在外子会社最小年金債務調整額			279		279					279
その他			47		47					47
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△1,464	1,034	△429	705	276
連結会計年度中の変動額合計	-	119	6,211	△25	6,304	△1,464	1,034	△429	705	6,580
2007年11月30日残高	16,074	11,571	28,760	△183	56,223	6,067	△3,212	2,854	2,362	61,440

トピックス

Topics1 世界市場でエンジニアリングビジネスを強化

「ナチエンジニアリング」を開設

切削工具の再研削・再コーティング、ロボットのメンテナンスなどを中心としたエンジニアリングサービスの中核拠点を新設しました。

世界各地域で展開し、コンサルティングから商品・技術の提供、アフターサービスまで、カスタマーをトータルサポートします。



ナチエンジニアリング
(神奈川県綾瀬市 2007年5月)



那智不二越(上海)精密工具有限公司
(中国・上海市)



NACHI Precision North Carolina Inc.
(米・ノースカロライナ州)

Topics2 アライアンスを拡げる

三協立山アルミとマグネシウム合金事業で協同開発



両社がもつ加工技術を融合し、マグネシウム合金の高品位なプレス成形品の商品化に成功しました。

電機・電子、自動車、産業機械など幅広い分野で、マグネシウム合金の市場を拡大します。(2007年5月)



「GS MILL」がモノづくり部品大賞「機械部品賞」を受賞

GS MILLは高い生産性に加え、省資源・省エネルギーに優れ、住友電工ハードメタルと協同で開発、製造、販売を展開しています。

ものづくりには欠かせない世界標準の切削工具として、市場から高い評価をいただき、3年連続の受賞となりました。

(日刊工業新聞社主催 2007年3月)



Topics3 材料技術の開発をすすめる

「R&Dマテリアル」を新設

ナチビジネスのベースである材料、熱処理・コーティングの研究開発拠点を新設しました。

新しい用途に適した材料の開発と、省資源化をすすめます。



(東富山事業所 2007年5月)

高機能超合金「FM ALLOY」を開発

新しい製造方法の開発と特殊溶解炉の導入により、高機能超合金の商品化に成功しました。

航空機や超精密機械など、新しい機能部品分野に参入します。



(東富山事業所 2007年10月)

FM ALLOY:自由多彩。“多様”に演じ分けます。

Topics4 ▶ ロボットビジネスを強化

2007国際ロボット展で、7軸垂直多関節の 新プラットフォームロボット「Presto MR20」を発表

人の腕に近い動きを可能にした新しいコンセプトのロボットを開発、2007国際ロボット展に出展し、注目を集めました。

組立や加工、搬送など幅広い工程で、多彩で複雑な作業を可能にしました。産業機械分野を中心に新しい市場の開拓にとり組んでいきます。

日本ロボット工業会(会長 不二越社長)が、世界初の「ロボットサミット」を開催。世界の大手ロボットメーカー7社の首脳が一堂に会し、今後のロボットの可能性や各社の事業戦略について討論しました。(2007年11月)



Topics5 ▶ 競争優位商品に積極投資

グループをあげて生産体制を拡充



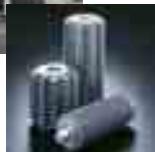
ユーティリティ用の
油圧走行モータ工場を新設
(富山県 滑川事業所 2007年6月)



ナチ東北精工 谷地工場を拡張
ユーティリティ用
ロータリーセンタージョイント
(世界トップシェア)を増産
(山形市 2007年10月)



精密歯車用の
歯切工具工場を新設
(富山事業所 2007年8月)



ナチマシナリーエンジニアリング
機械部品加工工場を新設
(富山県 流杉事業所 2007年5月)

世界3極で高機能ベアリングの 生産体制を強化



ナチ・テクノロジー・タイランド(タイ)



ナチ・ブラジル(サンパウロ)



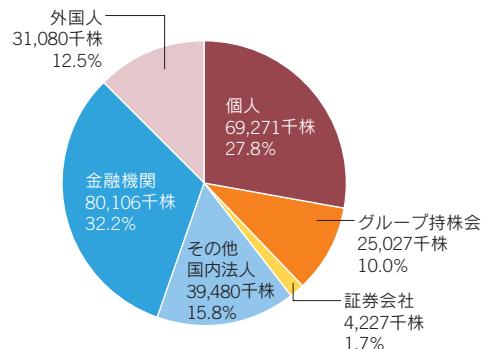
東莞建越精密軸承有限公司(中国・広東省)

株式の状況 (2007年11月30日現在)

発行済株式の総数 249,193,436株
株主数 34,961名
大株主(上位5名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
トヨタ自動車株式会社	13,182	5.29
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,888	4.77
那智わねい持株会	11,032	4.43
ナチ不二越従業員持株会	10,704	4.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,325	3.74

所有者別株式分布



役員 (2008年2月20日現在)

代表取締役社長	井村健輔	取締役	本林理郎*	常勤監査役	中野直人
代表取締役副社長	本間博夫	取締役	佐々木誠	常勤監査役	佐口厚*
代表取締役副社長	長尾正弥	取締役	寺越秀夫	常勤監査役	明石光生
常務取締役	笠原英紀	取締役	髭右近正幸	監査役	福島栄一*
常務取締役	田中幸彦	取締役	金子善四郎		
常務取締役	柴功安	取締役	山田寛		
常務取締役	石黒健治	取締役	荻野肇一		
常務取締役	中河清				

*の各氏は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

▶ 不二越の由来

不二越は、1928年(昭和3年)、当時ほとんど輸入に頼っていた機械工具の国産化をめざして、富山市に創立されました。創業者・井村荒喜は、「機械工具分野の自立こそ、わが国の産業を発展させる基礎である」という強い使命感にあふれ、この抱負を、創業の精神として「不二越」に表わしました。

不二は、仏典で「善悪不二、邪正一如」あるいは「迷悟不二」というように、現象としては違うもの、反対に見えるものも、より高い次元に立ってその本体を深く見極めれば、もともと一つのものであることを意味します。

すなわち、正に対する反、そして合への昇華を期するものです。越は、北陸の古い呼称「高志」を意味し、私たちがめざしている“Art”につながります。技術を「有規無辺」に伸ばし、企業の価値を高めていくことに通じるものです。

▶ NACHIの由来

NACHIブランドは、日本／大和のルーツである熊野の那智大社に由来し、高い事業意欲を表わしたものです。

1929年(昭和4年)、昭和天皇が国産奨励の産業視察のため関西に巡幸されたおり、大阪市庁で、優秀国産品として、不二越のハクソー(金切鋸刃)をご覧になりました。

初代社長・井村荒喜は、この破格の栄誉にいたく感激し、そのときの陛下のお召艦である最新鋭の国産巡洋艦「那智」の艦形をバックにして、NACHIマークをつくり、商標としました。

創業までもない地方の小企業の製品が天覧に供されたことは、すぐれた着想と研究開発の成果であります。

昭和天皇の即位の御大典と不二越の発足が重なる、新しい時代の潮のなかから生まれた商標です。

会社の概要 (2007年11月30日現在)

設立	1928年12月21日
資本金	160億円
従業員数	2,734名(グループ人員 5,802名)
主要な事業内容	機械工具事業 切削工具 塑性加工工具 切断工具 精密金型 工作機械 超精密加工機械 機械加工システム ロボット事業 ロボットシステム 電子機器 機能部品事業 ベアリング 油圧機器 カーコントロールバルブ 免震システム 材料・熱処理事業 特殊鋼 工業炉 コーティング その他

主な国内事業所

富山本社	富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511	Tel.076-423-5111
東京本社	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021	03-5568-5111
東日本支社	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021	03-5568-5280
中日本支社	名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル 〒465-0095	052-769-6811
西日本支社	東大阪市本庄西2-3-7 ナチ大阪ビル 〒578-8522	06-6748-2510
富山事業所	富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511 [工具・工作機械 ロボット ベアリング]	076-423-5111
東富山事業所	富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼]	076-438-4411
	富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器]	076-438-8970
滑川事業所	滑川市大掛176 〒936-0802	076-471-2101
	[プレジジョン 油圧機器 カーハイドロリクス 工業炉 コーティング 精密成形]	

主な国内子会社

株式会社ナチ関東	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021	Tel.03-5568-5190
株式会社ナチ関西	東大阪市本庄西2-3-7 ナチ大阪ビル 〒578-8522	06-6748-2530
株式会社ナチ東海	名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル 〒465-0095	052-769-6911
株式会社ナチ常盤	東京都港区浜松町2-1-17 松永ビル5F 〒105-0013	03-3437-1631

主な海外拠点



株式メモ

証券コード	6474
基準日	定時株主総会の議決権 11月30日 期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
定時株主総会	2月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 ☎0120-78-2031
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店、全国各支店
株式名義書換手数料	無料
ホームページアドレス	http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

単元未満株式の買い増し請求のご案内

当社は、「単元未満株式の買い増し制度」を導入しています。単元未満株式(1,000株未満)をご所有の株主様が、単元株式数(1,000株)にするための不足分を買い増しいただける制度です。

また単元未満株式の売却を希望される株主様につきましては、買取請求ができます。

お手続きの詳細につきましては、左記の株主名簿管理人までお問い合わせください。

(株券保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にお問い合わせください。)

不二越、不思議。Art in NACHI

わくわくする技術、それはアート。

“Art”を辞書でひくと 芸術、技術、技芸という意味があります。
鍛え抜かれた肉体、高い精神から創り出される“技(わざ)”。演じるすべてがアートでありたい。
つくる、回す、走る技術。something(何ものか)を生み出す “ものづくりの不二越、不思議。”
私たちは Art in NACHI を提案してまいります。

NACHI